

(愛知県がんセンター)。井岡亜希子先生(大阪府立成人病センター)のご助言をいただきながら、杉山裕美先生(放射線影響研究所広島研究所疫学部)と中元一望氏(広島県医師会学術研修課)を中心に企画しました。地域がん登録の届出票を取りまとめる立場の各都道府県中央登録室の方々と、届出票を提出する立場の広島県内各医療機関の方々が、お互いの問題点を理解し合えるよう、高橋義雄氏(三原赤十字病院)から「診療情報からの地域がん登録の届出」、篠塚徳子氏(放射線影響研究所)から「広島県の中央登録室において問題のある届出票をどう処理していくか」、立山義朗先生(広島西医療センター)から「院内がん登録のない病院が、いかに地域がん登録届出を出していくか」、二宮基樹先生(広島市立広島市民病院)から「がん診療連携拠点病院からみた地域がん登録」というタイトルで、それぞれご説明をいただきました。

また9月8日(土)には、広島県地域がん登録システムおよびセキュリティの見学会を放射線影響研究所で開催し、60余名の方にお越しいただきました。

なお、今回は懇親会を総会研究会前日の実務者研修会の後に開催しました。会場は第3回の総会研究会を開催した広島医師会館とし、広島県医師会、広島市医師会のご厚意で健康教育室をお借りすることができました。当日はあいにく大雨となりテラスに出ただくことはできませんでしたが、会場内は参加者の熱気にあふれていました。

さて今回はじめての取り組みとして、これまでの学術的ポスターだけでなく、各都道府県と広島市に登録室紹介のポスター発表をお願いしました(抄録の提出も同時にお願いしましたので今回の抄録集は100ページを越えるものとなりました)。それぞれの登録室が、組織図やスタッフの紹介などを盛り込んだポスターを作成し、とてもバラエティに富んだ内容でした。例年総会研究会終了後の懇親会で行われていたポスター表彰を、今回は学術的ポスターのみならず登録室紹介ポスターについても行うこととし、総会研究会直後に杉山裕美先生の司会で表彰を行いました。栄えある登録室紹介ポスターの第1回最優秀賞に輝いたのは長

崎県でした。次回開催の長崎県からは参加者も多く、組織票が入った可能性も否定できませんが、内容もデザインも最優秀賞にふさわしいものでした。

いろいろと行き届かない点もあったかと思いますが、何とか成功させることができましたのも、皆様のご協力の賜物と感謝しております。どうもありがとうございました。

第17回地域がん登録全国協議会総会研究会のご案内

関根 一郎

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科

附属原爆後障害医療研究施設 放射線障害解析部門

腫瘍・診断病理学研究分野(原研病理)教授

第17回地域がん登録全国協議会総会研究会を担当させていただくことになりました長崎大学の関根です。私は2005年11月より「長崎県がん登録委員会」の委員長を務めておりますが、それまでも病理医で構成される「長崎腫瘍組織登録委員会」の委員として、病情報を収集し、診断を見直し、がん登録にデータを提供する立場にありました。来年度より、長年の悲願でありました「腫瘍組織登録」を「長崎県がん登録」の枠組みにいれ倫理的な対応もとりつつ、がん登録事業の精度をより高めていきたいと思っております。

さて、2006年6月16日、議員立法で「がん対策基本法」が成立しました。それを受けて政府が取りまとめた「がん対策推進基本計画」の中で、取り組むべき3つの課題の一つにがん登録が上げられたことは皆様のご記憶に新しいところかと思えます。こうした中、全国各地で「がん診療拠点病院」が整備され、「院内がん登録」が義務付けられるなど、がん登録を取り巻く環境も大きく変化してきているようです。このような状況を踏まえ、2008年の長崎における総会研究会は、「がん対策基本法施行後の現状と課題」というテーマで院内がん登録と地域がん登録の協調、がん登録の更なる精度向上を目指す一助となるような会を計画中です。詳細な内容に関してはこれから詰めていきたいと考えているところです。実りある会にすべく、

放射線影響研究所疫学部陶山部長に副会長をお願いし、原研病理と放影研疫学部、さらに県の担当部局、縣市医師会理事などと話し合いを重ねています。

第17回総会研究会は、2008年9月12日(金曜日)、長崎大学医学部キャンパス内にある良順会館で総会研究会を行いたいと考えております。昨年は長崎大学医学部が創立され150周年となり、これを記念して昨秋講堂を有する「良順会館」が完成しました。皆様にもぜひ、西洋医学教育の発祥150年を記してつくられた良順会館をご覧いただきたいと願っております。

また、例年どおり総会研究会の一環として、ポスター展示も予定しておりますので、ポスター賞を目指してご準備いただければと思います。医学部キャンパス内には良順会館以外にもいくつかの施設があり、全国から多くの皆様をお迎えするだけの収容能力があると自負しております。例年どおり、前日の11日(木曜日)午後、実務者研修会も予定しております。さらに、長崎県行政担当者の要望もあり、行政担当者向けの集会も企画したいと考えているところです。

さらには、長崎における地域がん登録は市医師会の事業として1958年に開始され、今年50周年を迎えます。その記念行事として、長崎における50年のがん登録の歴史をまとめ、がん罹患データをわかりやすく要約した記念誌を作成し配布させていただく予定です。また、市民公開講座の開催も企画しておりますが、過去2回のような形ではなく、総会とは日と場所を改め、9月13日(土曜日)に開催する予定にしております。できれば、全国からお越しになった皆様にも事情が許す限りご参加いただければ幸いです。

また、総会研究会前夜に開催されます「懇親会」ですが、長崎はご承知のように美味しい海の幸が豊富なところです。実務を担当されている方々や行政の方々にとできるだけ多く参加していただき、長崎の食文化を堪能しつつ交流を深めていただきたいと願っています。そのため懇親会の会費の便宜をはかれるよう知恵を絞っているところです。

9月に皆様にお会いできることを楽しみにしています。是非、長崎へおいで下さい。

編集後記

本号には、IACRに関連して、第29回の報告、第32回大会(2010年次大会)の誘致、第6回(1984年次福岡大会)の概要と反省の3つの記事をいただきました。実際にこの国際学会に出席したことのある方は少数かもしれませんが、2010年に日本で開催される際は、皆様奮ってのご参加をお願いします。さらに「5大陸のがん罹患、第9巻」の記事では、最新巻の解説をいただきました。掲載される日本の地域も、今後ますます広がっていくことが望まれます。総会研究会については、第16回の報告と第17回の案内を掲載しています。第16回の広島での総会研究会には、皆様多数ご参加いただきありがとうございました。事務局長として、あらためてお礼申し上げます。今回の登録室便りは岩手県です。これまで運営委員長の八重樫雄一先生の献身的なご尽力で維持されてきた岩手県のがん登録も、標準DBSの導入を検討されているようで、未導入の地域にも参考になる記事だと思います。最後になりましたが、故高野昭先生の追悼文を奥野ヨシ先生からいただきました。高野先生のご冥福をお祈り申し上げます。(N.N)

2008年 関連学会一覧

4月30日-5月2日	ラテン語圏地域がん登録学会	Parma, Italy
5月22-23日	日本がん疫学研究会(第31回)	福岡市 九州大学医学部百年講堂
6月10-12日	NAACCR 年次総会	Denver, USA
9月11-12日	地域がん登録全国協議会総会研究会(第17回)	長崎市 長崎大学医学部良順会館
9月22-27日	Cancer Registry Course in Korea 2008	Seoul, Korea
10月28-30日	日本癌学会(第67回)	名古屋市 名古屋国際会議場
11月5-7日	日本公衆衛生学会総会(第67回)	福岡市 福岡国際会議場
11月18-20日	国際がん登録学会(IACR)(第30回)	Sydney, Australia

発行 地域がん登録全国協議会 Japanese Association of Cancer Registries 理事長 岡本 直幸
事務局 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-2-14 日本橋 KN ビル 4F
Tel : 03-5201-3867 Fax : 03-5201-3712
E-mail : jacr@cancerinfo.jp URL : http://www.cancerinfo.jp/jacr/